

日興コーディアル証券佐賀支店長が、さまざまな分野の方々とお会いし、語り合うシリーズ。今回は小城市で介護用品のレンタル・販売や保険調剤薬局を経営する株式会社大平社長・副島広幸さんをお訪ねしました。



大平社長
副島 広幸さん(37)

今も心に残る感謝の手紙
人と人のふれあい大切に

私が社長に就任したのが32歳の時でした。世間の常識から言えば「若すぎる」と思われるかもしれませんが、私はそうは思いませんでした。県内でも、もつと若くして社長に就任され、活躍されている方もいます。以前、内閣官房副長官を務められた古川貞二郎さんにお会いした時も、「二つ上の役職で物事を判断することが人を育てる」というお話をされていました。私の場合、一つではなく、とても上の役職だったので、悩みことも失敗もたくさんありました。それでも、この苦労や経験がきつと自分の糧となるはず。そう思っ、仕事に取り組んでいます。

高齢化社会を迎え、介護サービスの重要性は増しています。これまで以上に多種多様なサービスが求められる時代になりつつあります。ですが、一番大切なことは、お客様とのつながり・ふれあいを大事にすること。だからこそ、社員には相手の気持ちを考えることができる人になつてもらいたいと願っています。そのためには、日々の業務でも問題意識を持ち、考える力を養っていくことが大切です。それらの積み重ねが、最終的にサービスの質の向上につながると考えています。

介護の仕事に携わっていて、とてもうれしかった出来事があります。それは、感謝の手紙をいただいたことです。そこには「ベッドを借りたおかげで、介護がとても楽になりました。ありがとうございます」と書かれていました。その手紙を読んだとき、改めて自分たちの仕事人が人の役に立っているんだと実感することができました。これからもその気持ちを忘れず、地域の皆様に喜んでいただけるサービスを提供していきたい。そう、心に誓いました。

夢

副島 広幸

出合いに感謝



今回、副島社長といろいろな話をさせていただけでしたが、「人と人のつながり」を大切にされていることが、とてもよく伝わってきました。

サービス業だけにかぎらず、どんな仕事も、お客様に喜んでいただくことが最も大切なことだと私も思います。それだけに、「人の気持ちが分かる社員と一緒に働いていきたい」という言葉に、強く共感しました。

(佐賀支店長・高宮春樹)

日興コーディアル証券
CORDIAL

佐賀支店 ☎0952-22-2525

電話受付時間 / {平日} 8:30~17:30

〒840-0801 佐賀市駅前中央1-5-10 (朝日生命佐賀駅前ビル2F)

www.nikko.co.jp

そえじま・ひろゆき 1972(昭和47)年、佐賀市出身。帝京大学薬学部卒業後、1995年(株)大平に入社。すぐに北九州市の(株)佐々木総研に出向し、約2年間、税務・会計・人事・労務・医療コンサルなどを学ぶ。復帰後は調剤薬局に1年勤務後、介護部門で営業や介護保険の準備に携わる。2004年に社長就任。